

いんさい

No.188

2019. 5. 15

議会だより



令和の時代をきりひらけ!

(少年少女剣道クラブ練習風景 / 小倉台小学校)

平成31年度 予算 注目事業

こんな事業を実施します。

総額約540億円 の当初予算を可決

平成31年度 一般・特別・企業会計

次期総合計画策定…約1,414万円

市の最上位計画である第5次総合計画は2020年度で満了となることから第6次総合計画策定に着手するもの



快適な暮らしへ…都市機能の充実



- ・鉄道施設の整備と路線バス運行委託等 ……約1億7,337万円
- ・草刈り及び街路樹管理…約7億2,329万円
- ・市道山田・平賀線舗装改良事業…約1億円
- ・市道18-045号線小林駅南口駅前広場等整備 ……約1億387万円
- ・道路新設改良事業(市道00-026、00-009、00-122、00-107、竜腹寺線)…約7億6,004万円
- ・危険ブロック塀等除却補助金…約241万円
- ・地籍調査の実施…約2,796万円
- ・下水道の長寿命化・地震対策 ……約1億7,127万円

■各会計予算額

会計区分	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
一般会計	36,750,000	33,870,000	2,880,000	8.5
特別会計	16,393,419	15,927,812	465,607	2.9
国民健康保険特別会計	8,605,671	8,522,957	82,714	1.0
下水道事業特別会計	1,763,936	1,627,158	136,778	8.4
介護保険特別会計	5,224,475	5,009,827	214,648	4.3
後期高齢者医療特別会計	799,337	767,870	31,467	4.1
企業会計	798,259	871,062	△72,803	△8.4
水道事業会計	798,259	871,062	△72,803	△8.4
全会計合計	53,941,678	50,668,874	3,272,804	6.5

未来を拓く 子どもたちを育む



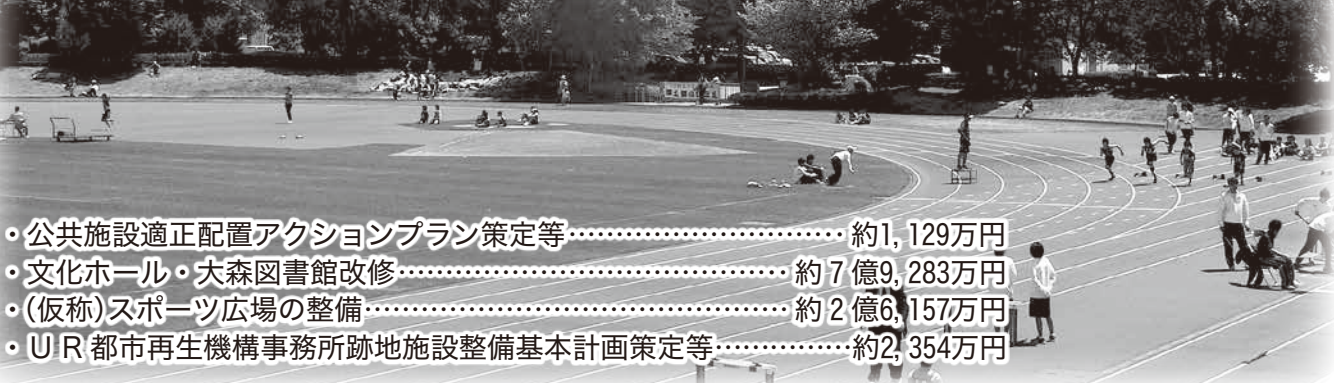
- ・ひとり親家庭等学習支援事業…約959万円
- ・保育園運営、民間保育園の助成・保育委託 ……約39億4,964万円
- ・学童クラブ…約3億181万円
- ・母子保健事業…約1億3,332万円
- ・子ども、高校生等医療費助成…約4億8,955万円
- ・就園奨励事業…約1億9,469万円
- ・国際理解教育推進…約6,918万円
- ・小学校の学習機の更新等…約1億8,961万円
- ・小中学校学習指導の充実…約1,398万円
- ・中学校校舎増築改修…約4億8,853万円



生き生きと暮らせる環境づくり

- ・地域づくり型介護予防事業…約1億4,471万円
- ・高齢者在宅福祉の充実…約1,700万円
- ・障がいのある人の福祉増進…約19億4,433万円
- ・がん検診…約1億2,301万円

スポーツ・文化・健康…公共施設整備



- ・公共施設適正配置アクションプラン策定等…約1,129万円
- ・文化ホール・大森図書館改修…約7億9,283万円
- ・(仮称)スポーツ広場の整備…約2億6,157万円
- ・UR都市再生機構事務所跡地施設整備基本計画策定等…約2,354万円



- P 2～3 平成31年度予算 注目事業
- P 4～5 予算審査 常任委員会報告
- P 6 3月定例会 質問者一覧
- P 7～16 一般質問 会派代表質問6人 個人質問7人 委員会提出議案・陳情
- P 17～19 各常任委員会の審査 総務企画常任委員会 文教福祉常任委員会 建設経済常任委員会
- P 20 議案と審議結果一覧
- P 21 議会改革推進 特別委員会 最終報告・活動結果
- P 22 議員の出欠簿
- P 23 印旛管内正副議長会 行政視察に来庁 編集後記
- P 24 市民の声 次回定例会の お知らせ

予算審査

予算審査常任委員会では、2月26日に平成30年度補正予算、2月27日から3月4日まで平成31年度当初予算、3月11日に追加された平成31年度補正予算の審査を行いました。

すべての予算議案は、原案のとおり可決しました。

平成30年度補正

普通交付税不交付団体に

地方交付税が3億323

9万7千円減額の理由は、

答 税収増により交付税不交付団体となり最終的に6億8760万3千円となったため。

平成31年度当初

いざという時のために

災害用井戸はどこに設置予定か。

答 西の原中学校区である。未設置は小林・印西・滝野・本埜・印旛中学校区であり、順次設置を進めていく。場所

はないかと考えている。

飼い主のいない猫を増やさないために

犬猫適正飼育推進事業のうち新規の内容は。

答 地域猫対策として不妊・去勢手術費助成金制度を開始する。雌1万円、雄5千円で40万円を計上している。



ノーマア イノシシ

イノシシの平成31年度の捕獲予定は何頭か。

答 950頭である。

地籍調査開始

新規事業の地籍調査はどの地域から開始するのか。

答 鹿黒・和泉地区の一部、約850筆から始める。千葉

によって違いはあるが、約2千万円弱の経費を要する。

時間外手当が増

人件費と時間外手当の見込みは。

答 人件費総額は、一般職と特別職、特別会計分で62億9723万8千円。時間外手当は、2億4650万9千円。県議会議員選挙、市議会議員選挙、参議院議員選挙のために、時間外手当は4752万5千円増額している。

交通不便地域解消を目指して

公共交通網整備促進事業の内容は。

答 本埜第二小学校周辺地域巡回バス運行、ふれあ



ニュータウンとの境が明確になつていするなど、比較的容易に実施可能と判断し選定した。

時速30kmの速度規制地域

高花地区ゾーン30の整備工事とは。

答 地元から要望があり、協議の結果、規制の対象として警察からこの範囲が示された。市としては区画線の設置、カラー舗装、ポストコーン設置を予定している。

クライミングワールドカップ

スポーツレクリエーション大会経費増額の理由は。

答 クライミングワールドカップ開催誘致のため、ウォールパネル交換、その他ワール



いバス運行、地域公共交通網形成計画策定等の業務委託で1億3272万9千円となる。

町内会・自治会集会所の建設に補助

町内会集会所施設の建設補助金4454万1千円の対象はどこか。

答 パストウレコート自治会の新築1カ所、笠神区、牧の里町内会の建て替え2カ所を予定している。



コミュニティセンター改修に

コミュニティセンター管理運営経費の工事請負費2億4926万円の内訳は。

ドカップに伴う予算計上をした。

子どもたちを守れ

小中学校の防犯カメラはどの学校に設置予定か。

答 木下・木刈・内野・高花・西の原・いには野小学校、印西・西の原中学校である。

学校給食がアレルギー対応に

中央学校給食センター事業の増額理由は。

答 ノロウイルス等の検査、アレルギーに対する委託費のため。アレルギーは卵、乳製品の除去に対応していく。

文化ホールが休館に

文化ホール改修の予定は。

答 工事は令和元年10月頃から開始し、令和2年1月から9月までの休館予定である。

水道料金と下水道使用料徴収が一元化に

千葉県水一元化の内容は。

答 現在、水道料金と下水道料金は別々に徴収されている

答 全額、中央北コミュニティセンターに係るものである。

印西市の保育園で働こう

民間保育園の助成経費13億1123万5千円のうち拡充した事業とは。

答 保育士の処遇改善として、月額3万円補助から4万円に引き上げる。

給付事業拡充

障害者自立支援給付事業の扶助費が4億3569万4千円増額の理由は。

答 主に就労支援継続事業、障害児通所給付事業、生活介護事業などの利用増による。

生活困窮者の自立が進む

生活保護扶助事業は5601万6千円減額されている理由は。

答 生活困窮者自立支援事業が始まって以来、一時的には生活保護世帯が増えたものの、その後は減少している。生活保護に至る手前で就職するなど、事業が機能しているの

が、市民の利便性向上、徴収コストの削減、及び下水道使用料の収納率向上を図るため、令和3年1月から上下水道料金徴収一元化を実施予定である。

平成31年度補正

お得な商品券をどうぞ

プレミアム付商品券事業の内容は。

答 低所得者、3歳未満の子育て世帯が対象となる。2万5千円分の商品券を2万円で購入する。500円の商品券10枚つづりを4千円で複数回購入可能である。

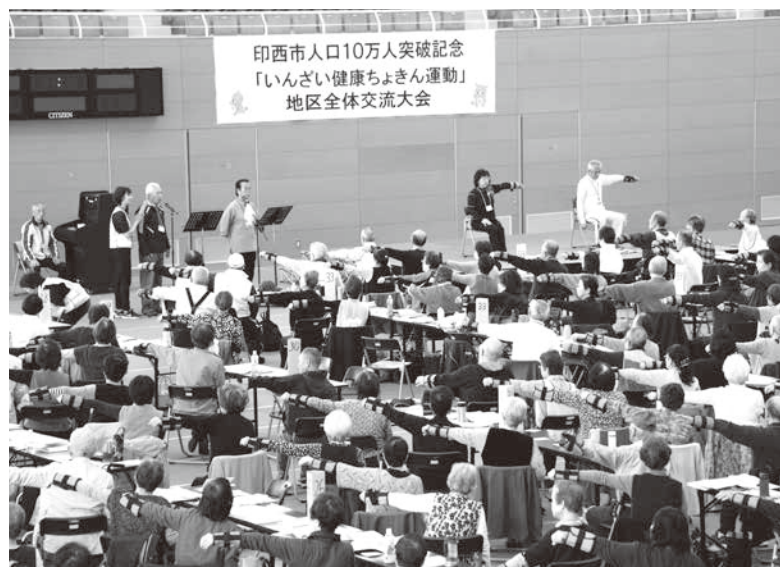
風疹の無料抗体検査・予防接種を実施

風疹に関する事業内容は。

答 抗体価が低い昭和37年4月2日から54年4月1日生まれの男性を対象に、抗体検査・予防接種の無料クーポンを送る。全国どこでも接種できる。

SDGs (持続可能な開発目標)の推進は

「至誠」小川 義人 議員



運動で健康・長寿の達成を

導入検討はされたのか。

企画財政部長 地方公共団体におけるSDGsの取り組みの推進は、国における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂版において位置づけられている。市としては、国の動向を注視しながら、「次期総合計画」において、SDGs達成に向けた取り組みを実施項目として組み込んでいきたい。

再質問 平成30年度において、SDGs達成取り組みの模範となるような成功事例を形成することを目的に、「未来都市」の公募があった。なぜ、市は応募しなかったのか。

回答 SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業としての選定を受けて、推進する事業が見当たらなかったこと

とから、応募は行わなかった。再質問 自治体SDGsの推進について、どう考えているか。

回答 国が策定した「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」において、8つの優先課題として示された、SDGsを達成するための具体的な施策に取り組んでいく必要があると考える。この中で、「健康・長寿の達成」の分野において、いんざい健康ちよきん運動やがん検診事業などを実施しており、指針で示されている指標を踏まえて推進していきたい。

再質問 市は、今後もSDGsを推進していくのか。

回答 自治体におけるSDGsの推進は、地方創生の実現に資するものであると認識しているため、他の自治体のモデル事業を研究するとともに、現在、市が推進している事業で、SDGsを達成するための施策に合致する事業は引き続き推進していきたい。

質問 国連サミットで、国際社会全体の開発目標として、2030年を期限とする包括的な17の目標(SDGs)が採択、設定された。その後、国内では、地方公共団体におけるSDGs達成に向けた取り組みを促進することが「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」で閣議決定された。市は、自治体SDGsの

3月定例会

3月定例会は、2月14日から3月18日までの33日間、開催されました。市長提出案件は議案39件、報告5件、委員会提出議案は1件、それぞれ慎重な審議が行われました。審議結果は、20ページに掲載しています。

一般質問

平成31年第1回定例会では2月18日から4日間、13人の議員による会派代表質問・個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここではその一部を掲載いたします。この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

- 1. 至誠 (小川 義人) P7
- 2. 新政 (海老原 作一) P8
- 3. 創進 (松尾 榮子) P9
- 4. 公明党 (浅沼 美弥子) P10
- 5. 日本共産党 (山田 喜代子) P11
- 6. 響(ひびき) (金丸 和史) P12

個人質問

- 1. 軍司 俊紀 P13
- 2. 橋本 和治 P13
- 3. 近藤 瑞枝 P14
- 4. 増田 葉子 P14
- 5. 小川 利彦 P15
- 6. 伊藤 真一 P15
- 7. 岩崎 成子 P16

我が市政を問う



問 老朽化対策事業費の基金は

答 今から財源対応が必要

「新政」海老原作一議員

質問1 印西市公共施設等総合管理計画では、インフラ資産の改修・更新に係る財源不足に言及している。その財源対応を今から進めていく必要があるのではないか。

企画財政部長 インフラ資産の将来の更新費用の推計によると財源対応を今から進めていく必要があると考えている。

再質問 インフラ資産の改修・更新のための特定目的基金のあり方の研究調査はいつ終了するのか。

答弁 平成31年度中を目途に調査を終えたい。

質問2 市民参加条例施行規則第4条第2項の規定は、

市民部長 用地費を除く事業費が5億円以上の公共施設を整備する場合は、市民参加を求める対象とする規定である。

再質問 都市再生機構事務所跡地は対象となるか。

答弁 市民参加手続きを実施していくものと考えている。

質問3 印旛高校跡地活用に係る用地取得費、施設等の整備費用はいくらか。

市長 用地取得で約6億4500万円、施設等整備費用では、平成29年度までの実績で約17億5100万円である。

再質問 現在進行している整備事業の予想される事業費は、**環境経済部長** 約3億5200万円を見込んでいきたい。

0万円を見込んでいる。**質問4** 子ども虐待防止に向



木下交流の杜広場

けた取り組み体制はどうか。**健康福祉部長** 子育て支援課内に児童相談係を設置し、社会福祉士、保健師の正規職員3名、教員資格を有する家庭児童相談員3名の体制で、情報入手後、迅速対応している。**質問5** 市道の総延長と保守コストはどうか。

市長 総延長は、平成30年4月1日現在、約114.5kmである。また、維持に係る経費は、29年度実績で、

街路樹管理等を含め総額で約4億7900万円、このうち舗装の修繕工事等に係る経費は、約1億5200万円である。

再質問 道路の不具合の通報システムについてはどうか。

都市建設部長 有効な仕組みと認識している。早期に方向性を示したい。

が必要だがどう考えるか。

市長 次期総合計画の策定にあたっては、市全体のバランスも考慮に入れ、市の特性を生かしつつ持続可能なまちづくりを目指し、市民の意見を聞きながら進めていきたい。

再質問 長野県諏訪市では実施計画は一覧表形式で、事業ごとに実施年度や内容、事業費、財源が整理され、職員にとっても進行状況が把握しやすい、市民が見ても事業の実施状況が一目でわかるようになっていている。開かれた市政を目指す中で、実施内容や予算額などを具体的に記載するよう表記内容を見直す考えは、

企画財政部長 次期総合計画の策定と合わせて、市民が見やすく分かりやすい実施計画

に見直していきたい。

質問2 市街地におけるハクビシン等野生動物の被害対策について、イノシシ等による農業被害が増大し、対策が進められているが、近年は住宅街にもハクビシン等が出没し、家庭菜園や庭の果樹荒らし、糞尿、空き家への住みつきなど被害が増えている。市は「印西市鳥獣被害防止計画」を策定したが、担当は農政課で住宅地の野生動物には対応していない。千葉市や八千代市、近年は葛飾区や足立区、板橋区など市内でもハクビシンやアライグマの被害が増え、環境政策担当課が箱わなの貸出し、設置、捕獲等の対策を行っている。住宅地のハクビシン等はどう対応していくか。

環境経済部長 現在、環境保全課内の体制強化の検討をしている。他市の事例等を参考に、市街地における有害鳥獣への具体的な対応について検討していきたい。

魅力的な市を計画的に 市街地有害鳥獣対策は

「創進」松尾 榮子 議員



都市化が進む印西市

質問1 印西市基本構想、基本計画の次期計画は、将来にわたる市のまちづくりにとつて大変重要。合併後10年を経た市全体が一つにまとまり市内全域を結ぶ交通利便性や行政の効率性がよく、10万人を突破した市民が真に暮らしやすく魅力的な市を実現していくためには、市の拠点づくりを考えた本格的な計画づくり

が必要だがどう考えるか。

議会だよりを「マチイロ」で!



会議録がインターネットで閲覧できます。



いなざい議会だより

令和元年(2019年)5月 No.188

いなざい議会だより

令和元年(2019年)5月 No.188



お知らせ

問 妊産婦・乳児救護所が必要では

答 支援体制を整えることは重要

「公明党」 浅沼 美弥子 議員

質問1 災害時の妊産婦・乳児救護所を整備する考えは。

総務部長 災害時は救護所で応急医療活動を実施する。妊産婦・乳児については救護所のスペースを活用することになつてはいるが、今後の救護の在り方について担当部署と協議していく。

再質問 多数の負傷者が出た場合に設置する救護所。妊産婦・乳児が同じ場所で適当なのか見直す必要がある。妊産婦・乳児は、最優先弱者として優先順位を上げ、専用の救護所の整備を計画すべきではないか。担当部署の認識は。

の心身の特性や生活上配慮すべき事をふまえ、避難生活の環境や支援体制を整えることは重要だと認識している。

再質問 乳児用液体ミルクの備蓄についての考えは。

総務部長 乳児用液体ミルクは災害時において有効であるが、保存期間や費用について検討の必要がある。

質問2 防災行政無線が聞こえないとの声を聞く。個別受信機を配備する考えはないか。

総務部長 各家庭では防災メーサーや防災行政無線テレホンサービスで対応。今後、福祉施設等については見直す。

質問3 西日本豪雨では消防

団の救助用資機材が不足し救助活動が進まなかった。国は

この教訓を踏まえ、消防団の装備強化のため補助金を創設した。これを活用し装備強化を図ってはどうか。

総務部長 救助用資機材の整備は市内の地域性を考慮し、消防団役員等と検討する。

質問4 都市再生機構事務所跡地に建設予定の新たな施設に防災機能を整備することを提案する。考えを伺う。

総務部長 検討する必要があると考える。

再質問 具体的に必要な機能の想定は。

答弁 市役所本庁舎の代替え施設として、災害対策本部の設置を想定した場合の非常用電源の確保や帰宅困難者の避難受け入れ等を考慮した整備等が考えられる。



防災行政無線

答弁 考えていない。

質問2 18才までの医療費を、窓口負担もゼロにして完全無料化する場合の費用は。

健康福祉部長 平成31年予算ベースで4億9千万円見込んであるから、無料にするると約4千万円増額となる。

質問3 いこいの湯は、レジオネラ属菌が検出されたため、平成30年10月より休止になっているが、再開の見通しはどうか。

健康福祉部長 浴槽の補修、洗浄作業、水質検査を行い安全が確認できれば3月中に再開したいと考えている。

質問4 就学援助制度の申請方法として、神戸市が実施しているが教育委員会に郵送す

るといのはどうか。

教育部長 検討する。

質問5 地球規模でプラスチックごみによる汚染や被害が広がっている。削減への対策の考えはあるか。

環境経済部長 減量化等説明会など各種取り組みを実施すると共に、映像コンテンツを更に充実させる。

再質問 まず議員、職員は、見本となるべくマイバックを使い、割り箸を受け取らない事としてはどうか。

答弁 マイバックの利用について啓発していく。

質問6 消費税10パーセント増税への市長の見解は。

市長 国の施策の一つとして、社会保障の財源として特定のものに負担を集中させず、国民全体で広く負担していただくため、税の引き上げが行われると認識している。

再質問 増税により苦境に陥るであろう市内の零細中小企業の声を聞く考えは。

答弁 十分聞いてみたい。

美味しい給食無料化で子育て応援

「日本共産党」 山田 喜代子 議員



学校の給食

質問1 学校給食の無料化で、中学生の給食費を半額補助した場合の費用はいくらか。

教育部長 平成30年の予算ベースで約7600万円である。

再質問 財政健全度が県内で浦安市に次いで2位の印西市では可能ではないのか。無料化に向けて検討する考えは。



お知らせ

請願・陳情書の提出ができます。詳細は議会事務局まで。



お知らせ

市役所1階行政資料コーナー、市議会ホームページで政務活動費収支報告書が閲覧できます。

印旛中央地区事業 外国人の居住

「響(ひびき)」 金丸和史議員

質問1 「印旛中央地区」に
ついてはどのような状況か。

都市建設部長 地権者主体の
再事業化検討会の第3回目を
平成31年1月28日に開催し
た。再度、組合設立準備委員
会の設立支援のための予算を
計上し、委託業務契約を平成
31年度初旬まで繰越す予定で
ある。

再質問 準備委員会だけでな
く、勉強会等具体的な土地活
用に向けた議論が必要ではな
いか。

再質問 土地活用手法の検討
が進む中で、必要であれば立
ち上げていきたい。

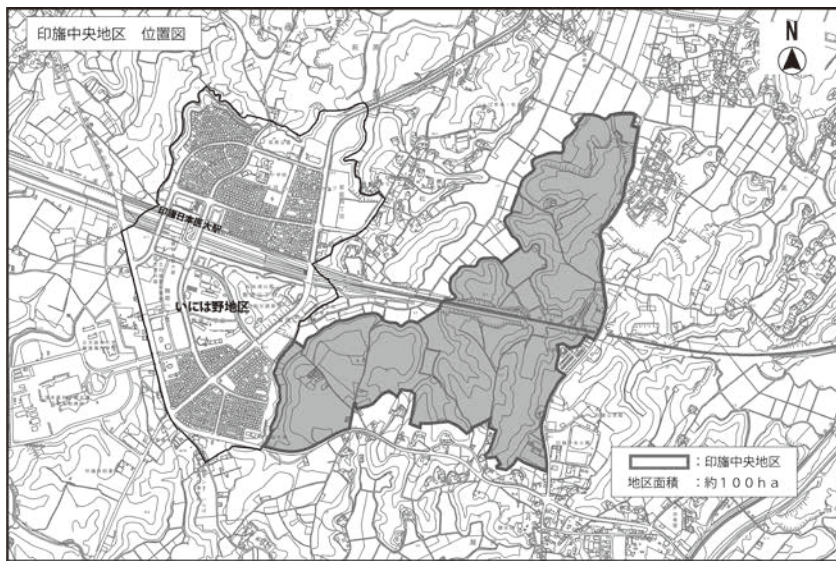
再質問 今後の対応において、

着地点はどこを目指すのか。
答弁 区画整理事業が都市計
画決定されており、市街化区
域とされているため、地区全
体の市街化形成が図られるこ
とを考えている。

質問2 平成31年4月1日か
ら改正出入国管理法・難民認
定法が施行されるが、現在
市として外国人の向けの施策
は何か。

企画財政部長 毎月一回「外
国人のための無料相談」を行
っている。

再質問 施策があまりに少な
いと感じるが、現状、苦情等
は寄せられていないか。
答弁 「外国人市民意識調査」



の結果では、病院のこと等日
常生活で困っているとの回答
があった。

再質問 窓口対応で問題と
なっていることはないのか。

市民部長 来庁する外国人は、
日本語が話せるか又は話せる
方を同行している。また、翻
訳アプリを利用し、対応して
いる状況である。制度説明等
で理解が難しい
場合もあり、苦
慮することがあ
る。

再質問 考え直
す余地もあり、
外国語を話せる
職員の採用を含
め、配置をして
はどうか。

総務部長 職員
は複数いるが、
全ての窓口に配
置することは難
しいため、情報
の共有等により
対応していきたい。

令和元年第2回定例会で予定されている一般質問は、
5月31日(金)以降、ホームページに掲載します。



お知らせ

個人質問

北総鉄道と関係改善すべきでは

軍司俊紀議員

質問 市は北総鉄道株式会社
と値下げに関して意見交換で
きているのか。

企画財政部長 平成30年2月
に「線路使用料の適正化と運
賃大幅値下げについて」の要
求書を北総鉄道に送付し、4
月に「線路使用料の適正化と
運賃大幅値下げについて」の
回答を受けた。また、5月には
「北総線の利便性向上につ
いて」の要望書を北総鉄道に
送付し、運賃の値下げ等の要
望をしている。株主総会でも、
市長から直接、北総鉄道に対

して質疑等を行い、市の思い
を伝えた。

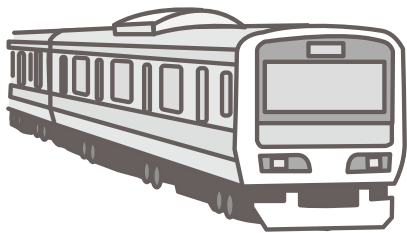
再質問 市は北総鉄道と、運
賃の引き下げに向けた交渉の
場を作って、話し合いをして
いくべきではないのか。

答弁 北総線の運賃について
は、市と北総鉄道の立場や考
え方の違いから、隔たりが生
じている。しかし、両者が率
直な意見交換を行うことは、
重要であると認識している。

再質問 ホームドアの設置に
向け、意見交換しているのか。
答弁 具体的な意見交換は行
われていない。

再質問 市内3駅については、
スカイライナーが高速で通過
するという特殊な事情がある。
市民の安全を守るという観点
から、北総鉄道と協議を行っ
ていくべきではないか。

答弁 北総鉄道の考え方を伺
いながら意見交換をしていき
たい。



個人質問

問 愛の鞭ゼロ作戦の取り組みは

答 体罰によらない育児に活用

橋本和治議員

質問1 子どもへの体罰が社
会問題となっている。厚生労
働省は、「子どものしつけに
は体罰が必要」という誤った
認識・風潮を社会から一掃す
ることを目的として、「子ど
もを健やかに育むために愛
の鞭ゼロ作戦」という啓発
資料を作成した。本市の取り
組みを伺う。

健康福祉部長 市では、体罰
によらない育児を推進するた
め、親子で集う場所での配布
や、市のホームページに掲載
することにより活用したい。

質問2 ※OCRなどを活用
して伝票入力などの作業を自
動化し、作業効率の大幅な
アップを可能にする※RPA
が、自治体業務にも導入され
はじめた。本市の取り組みを
伺う。

総務部長 RPAの効果に期
待しているが、現状では、導
入できる業務及びその効果、



トイレ搭載トレーラー

導入費用などは研究段階なの
で、今後とも先進自治体等の
情報収集に努めたい。

質問3 災害時の避難所で不
足するトイレ対策として、水
洗トイレ搭載の専用トレーラ
ーの導入が始まった。本市で
も導入する考えはないか。

総務部長 静岡県富士市が、
ふるさと納税などを活用し、
水洗トイレを搭載した専用ト
レーラーを導入したことは把
握している。今後、導入まで
の経緯や課題などについて、
情報収集に努めたい。

※OCRとは…イメージスキャナー等で読み取り、コンピューターが
利用できるデジタルコードに変換する技術
※RPAとは…主に定型作業をパソコンの中にあるソフトウェア型の
ロボットが代行・自動化する概念



かいせつ

個人質問

スワン号は交通不便地域を救うか

近藤瑞枝 議員

質問 1 平成30年12月1日、市初のデマンド交通スワン号が実証運行開始となった。デマンド型の利用状況は。



デマンド交通スワン号

再質問 開始後3カ月足らずの現時点では評価は難しいと思うが、今後の予定は。

答弁 31年度も運行を継続し、状況把握に努め、地域公共交通会議委員の意見を聞きながら検討していく。

質問 2 平成30年度、防犯カメラが小倉台・原・滝野小学校、木刈・滝野中学校に設置された。31年度の予定を伺う。

教育部長 小学校6校、中学校2校へ設置する予定である。

再質問 大規模改修以外にも池やグラウンドなど、学校環境の適切な管理を行っていくのか。

答弁 今後も適切に管理していく。

質問 3 火災発生時、印西地区消防組合からの連絡により防災課が消防団の出動要請をするが、更なる迅速な連携体制構築が必要ではないか。

総務部長 可能であれば、消防組合から直接、消防団に出動要請することも方策の一つ。

再質問 具体的に検討の場を設けて協議するべきでは。

答弁 平常時、災害時を問わず消防組合との連携は重要である。出来るだけ早期に検討の場を設けたい。



「声の議会だより」の配布を希望される方は、障がい福祉課☎0476(33)4639までご相談ください。

個人質問

問 今後の地域振興策はどうか

答 住みよさを実感できるよう考える

小川 利彦 議員

質問 市の産業振興策は。

環境経済部長 商工会等と情報を共有し経営強化に向けた支援を進めるための施策を実施している。

再質問 農林振興策は。

答弁 農業生産基盤の整備や遊休農地の解消など、生産基盤の強化や保全対策を推進していくとともに、意欲ある担手の育成・確保のための施策、また、食の安全や地産地消など、多様化するニーズに対応するとともに、農業を媒

介とした多様な地域・世代間の交流を図り、地域の振興に結びつけるため施策を実施している。

再質問 観光振興策は。

答弁 市観光協会との連携等による市の魅力発信体制の強化や、各地域に存在する自然・歴史・伝統文化といった観光資源の活用及びPR等を実施している。

再質問 基盤整備振興策は。

都市建設部長 自然環境と都市環境が調和し、適正で機能的な土地利用の誘導や、各地域の特性を生かし、持続的なまちづくりを推進する。

再質問 教育・文化振興は。

教育部長 様々な分野で活躍していく未来に向けた教育を推進している。

再質問 現状と今後の課題は。

市長 各地域の住民が住みよさを実感できるようなまちづくりに取り組んでいきたい。

個人質問

新たなコミュニティセンターの整備を

増田 葉子 議員

質問 「公共施設等総合管理計画」では30年後、現在の公

共施設の34%を削減する目標を立てたが、一方で人口が急増し、拠点となるべき公共施設がほとんど無いところに多くの市民が生活している。コミュニティセンターなどは、

「今後の市民ニーズを踏まえた検証を行う」という実施方針だが、今後、どのようにニーズを把握し、それをふまえて検証されるのか。

市民部長 利用者の意見や老朽化等の施設性能など、様々な視点から検証が必要と考える。具体的なことは、今後検討する。

再質問 コミュニティセンターがまちづくりに果たす役割を改めて伺う。

答弁 地域コミュニティの醸成を担う拠点施設として、大きな役割を担っている。

再質問 千葉ニュータウン中央駅南側で、もともとはコミュニティの核となる小学校が計画され、過去の経過で計画がなくなった地区がある。少なくとも拠点となるコミュニティセンターは必要ではないか。ほかにも必要と思われる地区はたくさんある。新たに整備する考えは。



答弁 地域によって人口動態に違いがあるものと認識している。地域コミュニティ活動を推進していく上で、そうした点をふまえ、施設の機能を充実させていく必要がある。

個人質問

介護利用料の負担軽減を

伊藤 真一 議員

質問 介護が必要な市民への補助として、利用料の負担を軽減する考えはないか。

健康福祉部長 介護保険制度では、自己負担が高額となる場合は、所得に応じて一定金額以上の費用は高額介護サービス費として給付される。また、低所得者が施設を利用する際には、被保険者の負担が軽減される制度がある。

再質問 知人の母親は要介護3で2人暮らしをしており、入所を希望しているが特別養護老人ホームを含め、市内の

数カ所の利用料を確認したところ、どこも15万円前後が必要で、とても入所が厳しい状況とのことである。入所の場合、負担が生活費の半額以上となるが現状をどう考えているのか。

答弁 利用料が高額となった場合は、介護保険から高額介護サービス費として給付されることにより、利用料が軽減されている。低所得者には、特定入居者介護サービス費が給付され負担軽減される。

再質問 近隣他市では、独自に助成制度を設けており、低所得者だけでなく、利用者負担の助成を受けられるが、印西市でも今後、独自の助成制度をつくる考えはあるか。

答弁 独自の利用者負担軽減策については、先進自治体の事例などを調査研究して考えていく。



個人質問

道路の舗装工事は早急に

岩崎 成子 議員

質問 市道山田・平賀線の舗装改良事業の進捗状況は。

都市建設部長 総延長約4700メートルのうち、平成29年度に平賀学園台入り口の交差点付近約450メートルを施工、30年度は主要地方道佐倉・印西線との交差点より山田地区側において2区間、合計で約1700メートル施工したので、30年度末の舗装改良済延長は約2150メートルとなり、総延長に対する進捗率は45パーセントである。

再質問 舗装改良工事の今後のスケジュールは。

市長 当該地周辺には、東京オリンピック競技大会の事前キャンプ実施のために、市とともに取り組んでいる順天堂大学があるので、31年度は、平賀学園台入り口の交差点付近より、順天堂大学周辺までの区間において、約800メートルの舗装改良工事を実施



市道山田・平賀線

していく予定である。

再質問 平賀学園台の主要な幹線道路市道油作・仲ノ台線の修繕の見通しは。

都市建設部長 市民の生活や交通に支障を及ぼさないよう、できる限り早期に進めていきたいと考えている。現在、市道山田・平賀線の舗装改良工事も鋭意進めている状況であるから、事業の進捗状況等を踏まえ、引き続き実施できるように努めていく。

委員会提出議案

▼印西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

〈可決〉

【内容】 行政組織の改編に伴い、文教福祉常任委員会が所管する事項に関する規定について、健康福祉部を福祉部と健康子ども部に改正するもの。

本会議において、議会運営委員会から提出され、全会一致で可決されました。

陳情

▼全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める。

〈議員配布〉

表紙の写真



市内で活動する少年少女剣道クラブである北総中央剣友会の稽古の一幕。この会には、小学校低学年から大人まで幅広い年齢層の方々が所属しています。特に中心となっている小学生たちは毎週市内の体育館や武道場で厳しい稽古に励み、毎年10月に松山下運動公園で開催されている印西市青少年剣道大会や、日本武道館で開催されている全日本少年少女武道錬成大会をはじめとした、各種大会への出場を目指しています。

会のスローガンである「心身錬磨」の旗のもと、礼儀正しく大きな声で稽古に励む子どもたちの姿がとても印象的でした。

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会において審査することを原則としています。3月5日に総務企画常任委員会、3月6日に文教福祉常任委員会、3月7日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

生涯元気で暮らせる

まちづくりを

【議案第1号 印西市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定】

【内容】 スポーツ施策と健康増進施策を一体的に押し進めることにより、市民がより一層スポーツ及び健康に関心をもち、生涯元気で暮らせるまちづくりを展開していくため、スポーツ振興課を教育委員会から市長部局に移す。



【議案第3号 行政組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定】

【内容】 ▼「健康福祉部」を「福祉部」及び「健康子ども部」に分割するとともに、「健康子ども部」の所掌事務に「スポーツに関すること（学校における体育に関するものは除く。）」を加える。

▼総務部の所管する事務のうち、契約及び工事検査並びに統計に関する事務を企画財政部の所掌事務とする。

▼印西市特別職報酬等審議会の庶務を総務部総務課から総務部人事課に名称を改める。

▼印西市予防接種健康被害調査委員会の庶務を健康福祉部健康増進課から健康子ども部健康増進課に名称を改める。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第1号	印西市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定	可決
議案第3号	行政組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可決
議案第4号	印西市個人情報保護条例及び印西市情報公開条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第5号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第6号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第8号	印西市行政財産目的外使用料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第9号	印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第17号	印西市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第18号	印西市自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の附置義務に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

子育て支援を確実に実行

各常任委員会の審査

【議案第10号 印西市子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】子ども・子育て会議の庶務を保育課から子育て支援課とする。

問 なぜ今、保育課から子育て支援課に移すのか。

答 「子ども・子育て支援事業計画」の大部分が保育課所管の内容だったが、子育て支援を総括する課に移した。

【議案第11号 印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定】



【内容】本塾第一学童クラブを本塾学童クラブに改定。新年度の児童数はどのくらいの見込みか。

答 16名で、このうち本塾第二小学校区から新しく3名を受け入れる予定。

【議案第12号 印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】千葉県が行っている「ひとり親家庭等医療費等助成事業」の実施要領が改正。

問 他市でも同様に改正しているのか。

答 すでに改正されたところもあり、順次改正していくと考えられる。

【議案第22号 印西市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】消費税率の引上げに伴う使用料の改定。

問 10月1日以後の利用でも、10月1日以前に納入すれば引上げ前の額か。

答 そのとおりである。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第10号	印西市子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第11号	印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第12号	印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第13号	印西市健康づくりセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第22号	印西市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第23号	印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第24号	印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

文教福祉常任委員会

森林整備のための

基金条例制定

【議案第2号 印西市森林環境整備基金条例の制定】

【内容】森林整備及び森林整備の促進に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、経費の財源として基金を設置するために新たに条例を制定。

問 森林面積はどの位あるか。

答 680ヘクタールである。

問 目的を達成するために、どういった事業があるのか。

答 1点目として森林整備の質や量の向上のための事業、2点目として人材育成、担い手の確保、3点目として木材利用の促進、4点目として普及啓発が考えられる。

問 基金の算出方法は、

答 私有林、人工林の面積、また林業就業者、市の人口を元に算出されている。

【議案第38号 印西市道路線の認定】

【内容】トキワ特定目的会社による開発の道路(鹿黒南二丁目1番)を市道認定。

問 周りが民間の会社で、市道認定をする理由は何か。

答 今後この区画の物流施設に入りする業務用車両が著しく増加して、千葉ニュータウン北環状線など渋滞の発生が予想されるが、この市道を利用し、千葉電ヶ崎線側に大型車等の出入りができることで、物流施設に出入りする交通量が分散されることから、周辺道路の渋滞緩和にもなると考えている。

問 バス停を設置できる場所か。

答 今後民間路線バスの停留所が設置される計画があると伺っている。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第2号	印西市森林環境整備基金条例の制定	可決
議案第7号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第14号	印西市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第15号	印西市準用河川占用料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第16号	印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第19号	印西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第20号	印西市木下交流の杜広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第21号	印西市下水道条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第25号	印西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第26号	印西市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第38号	印西市道路線の認定	可決



平成31年第1回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥 ※議長(藤代武雄)は採決に加わりません。
※賛否が分かれた議案のみ掲載いたしました。

番 号	件 名	議決結果	伊藤 真一	稲葉 健	小川 利彦	玉木 実	米井 重行	櫻井 正夫	浅沼美弥子	岩崎 成子	海老原 一	近藤 瑞枝	橋本 和治	増田 葉子	松尾 榮子	山本 清	小川 義人	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田喜代子	酢崎 義行	藤代 武雄	
《 議 案 》 (市長提出議案)																								
議案第2号	印西市森林環境整備基金条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第4号	印西市個人情報保護条例及び印西市情報公開条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第8号	印西市行政財産目的外使用料条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第9号	印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第10号	印西市子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	印西市健康づくりセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第14号	印西市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第15号	印西市準用河川占用料条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第17号	印西市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第18号	印西市自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の附置義務に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第19号	印西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第20号	印西市木下交流の杜広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第21号	印西市下水道条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第22号	印西市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第23号	印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第24号	印西市文化ホール等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第25号	印西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第31号	平成30年度印西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第32号	平成31年度印西市一般会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第33号	平成31年度印西市国民健康保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第34号	平成31年度印西市下水道事業特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第35号	平成31年度印西市介護保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第36号	平成31年度印西市後期高齢者医療特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第37号	平成31年度印西市水道事業会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第39号	平成31年度印西市一般会計補正予算(第1号)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

平成31年第1回定例会 全会一致(可決・認定)議案一覧

番 号	件 名	番 号	件 名
《 議 案 》 (市長提出議案)			
議案第1号	印西市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定	議案第26号	印西市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第3号	行政組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	議案第27号	平成30年度印西市一般会計補正予算(第4号)
議案第5号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第28号	平成30年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第6号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第29号	平成30年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第7号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	議案第30号	平成30年度印西市介護保険特別会計補正予算(第4号)
議案第11号	印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第38号	印西市道路線の認定
議案第16号	印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定	《 発 委 》 (委員会提出議案)	
		発委第1号	印西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

議会改革推進特別委員会 最終報告

議会改革推進特別委員会は、平成29年第2回定例会最終日の6月22日の本会議において設置され、22回の委員会を開催しました。これまでの委員会の活動の結果をご報告します。

第1回委員会を29年7月20日に開催し、検討課題の抽出を行うこととし、以後の委員会において抽出した項目の協議を行い、実行可能なものから順に実施しました。実施した主なものを別表にご紹介します。

なお、本特別委員会の設置期間は平成29年6月22日から調査終了までとなっておりますが、31年3月18日の報告をもって調査終了とし、現特別委員による議会改革推進特別委員会を閉じます。

議会改革推進特別委員会活動結果

項目	実施内容
1	平成29年から委員会の中継が始まることを踏まえ、議会・委員会中継に関する要綱・要領を同年9月1日に制定した。
2	本会議・委員会での傍聴者に対する資料配布について協議し、平成29年9月27日の正副委員長会議に提案、同会において極力配布すべきと決定した。なお本会議については、議長の判断に委ねることとした。
3	政務活動費の透明性を高めるため、政務活動費に対する議員相互のチェック体制を確立することを決定し、平成30年2月1日に各会派の会計責任者会議を開催した。しかしながら、具体的なチェック作業は実施されなかったため、今後の作業に期待する。
4	平成30年4月、議会のICT化を推進するため、印西市議会ICT化推進基本計画を策定した。また、同計画に基づき、平成30年度に市役所5階をWi-Fi化した。なお、同計画では、タブレットの導入などいくつかの課題についても明記しているため、今後の実施に期待する。
5	平成30年度に実施予定の市民意向調査と女性模擬議会の情報収集のため、30年4月25日から27日まで、先進地である石川県加賀市議会、愛知県豊田市議会、愛知県犬山市議会の視察を実施した。
6	先例・申し合わせ等の整理と見直しを行い、平成30年5月25日に開催した委員会において、新たに「議会運営に関する申し合わせ集」を決定した。
7	平成30年9月26日、吉田利宏氏を講師に招き、全議員と法務担当職員を対象に政策提案力のアップを目指し、「議員のための政策法務」をテーマに議員研修を実施した。
8	平成30年10月31日に女性模擬議会を開催した。
9	政務活動費の運用について見直しを行い、公務や止むを得ない事情で視察等をキャンセルした場合の旅費を政務活動費からの支出として認め、平成31年度以降に行われる視察等から実施することとした。
10	平成30年8月に印西市議会に関する市民意向調査を実施し、その結果を31年1月にまとめた。



平成30年度議員の出欠簿を公開します

本会議は定例会が4回開催されました。

次に、委員会については常任委員会（総務企画・文教福祉・建設経済・予算審査）、議会運営委員会及び特別委員会（議会改革推進・決算審査）が開催されましたが、各委員会ごとに開催回数異なるため、出席必要日数も各議員によって異なります。また、正副議長も各委員会等に随時出席していますが、出欠簿には記載してありません。

議席番号	議員氏名	本会議			常任委員会			議会運営委員会			特別委員会			全員協議会		
		出席必要日数	欠席日数	遅刻・外出	出席必要日数 (視察含む)	欠席日数	遅刻・外出	出席必要日数	欠席日数	遅刻・外出	出席必要日数 (視察含む)	欠席日数	遅刻・外出	出席必要日数	欠席日数	遅刻・外出
1	伊藤 真一	26	1		16	3					4			4		
2	稲葉 健	26			16						20	1		4	1	
3	小川 利彦	26			18			13			20	1		4		
4	玉木 実	26			15						4			4		
5	米井 重行	26	1	4	11			13			16	4		4		
6	櫻井 正夫	26			11						16	1		4		
7	浅沼美弥子	26			16			13	2		4			4		
8	岩崎 成子	26	2		14	4								4		
9	海老原作一	26			12						16			4		
10	近藤 瑞枝	26			18						4			4		
11	橋本 和治	26		1	14						16			4		
12	増田 葉子	26			16			13			4			4	1	
13	松尾 榮子	26			16						4			4		
14	山本 清	26	7	1	12	3								4	2	
15	小川 義人	26		1	11			13			16			4		
16	軍司 俊紀	26			15			13			4			4		
17	金丸 和史	26	1 (公務)	2 (公務)	21		1	13	2	1	16	1		4		
18	板橋 睦	26			14									4		
19	山田喜代子	26			11			13			16			4		
20	酢崎 義行	26			8									4		
21	藤代 武雄	26			11									4		

ドクターヘリを視察 印旛管内正副議長会

平成31年2月1日、印西市内において、印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会が開催されました。

ふれあいセンターいんばで定例会を行った後、日本医科大学千葉北総病院のエネルギーセンターとドクターヘリを視察しました。

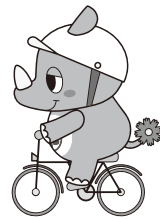
ドクターヘリの基地施設があるのは、千葉県内で君津中央病院と日本医科大学千葉北総病院の2カ所です。このドクターヘリによる早期医療介入が、救命の可能性を高める重要な役割を果たしていることを改めて認識しました。



愛知県岡崎市議会 2期生勉強会が視察に来庁

平成31年1月31日（木）、愛知県岡崎市議会2期生勉強会の議員9名が視察に訪れました。

視察内容は、「自転車の安全安心に関する条例について」でした。酢崎副議長から歓迎の挨拶、市民活動推進課の担当者が事業説明を行いました。



編集後記

議会だより編集委員会の現委員による最後の編集となりました。見やすく、理解しやすい議会だよりを目指し、議会の考えを皆さまにお届けできるよう、試行錯誤を繰り返して、2年間編集委員みなんで努力して参りました。読者の皆様からも、ここ数年の改善の評価を多数いただきました。市議会もここで改選になります。

次期メンバーにはきちんと申し送りをし、愛される議会だよりを市民の皆様にお届けしたいと思っております。
(米井)

委員長から一言
市民と議会を結ぶ
— 新時代の議会の
役割を背負い—

議会だより編集委員会は、第2回定例会（6月定例会）から改選後の新しいメンバーでのスタートとなります。今後とも市議会は、時代

と共に変化していくでしょうが、議会だよりが市民と議会を結ぶ重要な^{かけ橋}として、もつと皆さんの意見を取り入れる形で編集するよう申し上げます。
(酢崎)

委員長	酢崎 義行
副委員長	海老原作一
委員	伊藤 真一
〃	稲葉 健
〃	小川 利彦
〃	玉木 実
〃	米井 重行
〃	浅沼美弥子



『愛すべき印西』

印旛明誠高校3年

高野 陽平



生まれた時から印西市に住んでいます。少し前から印西市のいたる所で「人口十万人突破」という文字が目に入るようになりました。十万人というのは東京ドーム二個分の収容人数です。今も人口が増え続けているようで、とても素晴らしいことだと思います。今後は「印度じゃないよ、印西市」のPR動画の効果も出てインド十三億人を超える日が来るかもしれません、などという冗談を言いたくなるほどの勢

いです。

ただ、私は人口が増えるだけでは意味がないとも思っています。転住してきた人たちにも印西市に「地元愛」を持ってもらい、印西市に定着してもらいたいのです。例えば、私は小学校や中学校で「地元愛」が育まれました。小学校での印西市の歴史や文化を教えるも楽しかった授業はとても楽しい時間でした。さらに地域の人たちとの繋がりが大切です。私も市内のお祭りやイベントのお手伝いをするのがありますが、そのたびに色々な人と関わり、印西市民としての意識が強くなります。このように、昔から印西市に住んでいる方も転入してきた方も、印西市を「地元」として大切に、皆で協力して将来の印西市を担っていかれたらと思います。

議会を傍聴してみませんか

第1回 臨時会 / 第2回 定例会会期予定及び日程

第1回臨時会は、5月17日(金)、第2回定例会は、6月7日(金)から6月27日(木)までの会期予定です。

本会議は午前10時からとなりますので、市役所5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合があります。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎ 0476(33)4614



いんざい君©
2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17 第1回臨時会	5/18
5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25
5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31 議会運営委員会	6/1
6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7 本会議 (議案上程)	6/8
6/9	6/10 本会議 (個人質問)	6/11 本会議 (個人質問)	6/12 本会議 (個人質問)	6/13 本会議 (個人質問)	6/14 本会議 (個人質問)	6/15
6/16	6/17 予算審査 常任委員会	6/18 総務企画 常任委員会	6/19 文教福祉 常任委員会	6/20 建設経済 常任委員会	6/21	6/22
6/23	6/24	6/25	6/26 議会運営 委員会 正副委員長会議	6/27 本会議 (議案の採決)	6/28	6/29